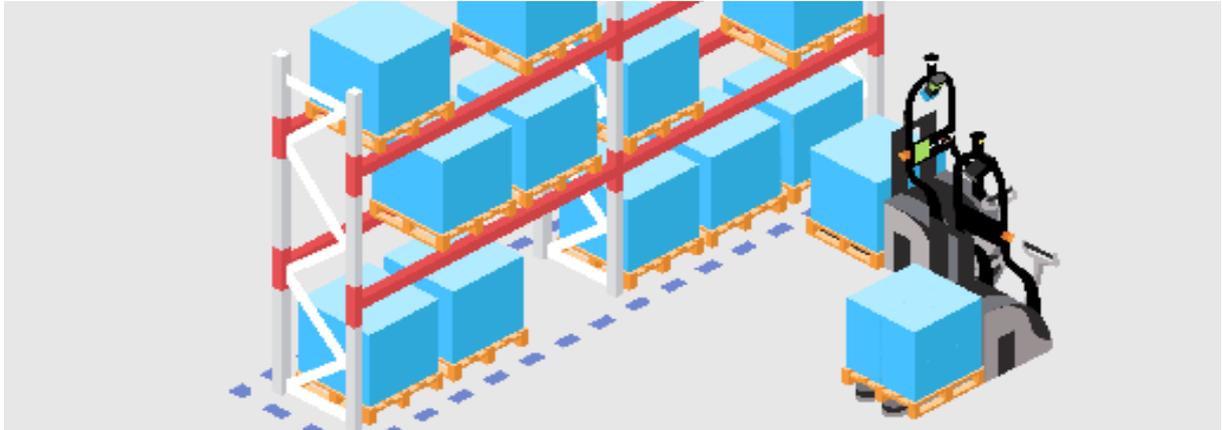


ラックへの格納/取り出し



FOCUS

「需要が増えるにつれて、特に地価が高い地域では、倉庫は荷物を積み重ねて保管スペースを最大限に利用することが大きな課題となっています。」

一般的な保管方法としては、標準的な棚(ラッキング)を使うことがあります。この棚は、多くの商品を置くことができ、各商品の格納/取り出しの必要がある場合に使われます。ただし、ブロックスタッキング(段積み)と比較すると、様々な保管方法を組み合わせて管理できるため、倉庫管理システム(WMS)の管理下で効率的に運用することが可能です。

倉庫の保管密度を高めることは、棚の配置が複雑になることを意味し、特に手動で操作するロボットを使用する場合、作業者はパレットの保管や取り出しに、特に高い位置での作業には注意が必要です。これは作業効率に影響を及ぼすことがあります。

BALYOのロボットを導入することで、企業はロボットを活用して、高い精度と効率で棚からのパレットの出し入れを自動で行うことができます。」

ソリューション

WMSインターフェース:例えば、完成品のパレットが高いラックに保管する必要がある場合、BALYOロボットはWMS/ERPとインターフェースし、パレットを指定されたラックに格納するミッションを与えることができます。BALYOロボットは3Dカメラを使って、パレットをラックに載せる前に空きスペースがあるかどうかチェックします。

ラックへの格納/取り出しの特性

50%

庫内最適率

LOW

密度

LOW

負荷の均一性

HIGH

サイクルタイム

なぜBALYOなのか？

ローカルおよびグローバル・サポート

BALYOテクノロジーを搭載したトラックはすべて、OEMとの完全なパートナーシップのもと完全に統合された製品であり、地域の技術サポートとスペアパーツを備えたディーラーネットワークによって完全にサポートされている。

インフラへの初期投資なし

BALYOのロボットによる駆動は、追加のインフラを必要としません。BALYOの技術により、ロボットは安全性以外を考慮することなく、既存の施設内を移動・走行することができます。

デュアルモード

BALYOロボティック・ソリューションは、自律するように作られた標準的なトラックです。どのような運転者でも（クライアントが許可すれば）、どのような目的でもロボット・リフトトラックをコントロールすることができます。

垂直搬送に適したアプリケーションの紹介



段積み（ブロック積み）